

会 議 録

会議名	第2回 山陽小野田市特別職報酬等審議会
会議日時	令和3年11月18日(木) 14時～15時
開催場所	市役所3階 大会議室
出席者	小山 知治委員 中川 正治委員 小松 文子委員 比嘉 朝康委員 平中 政明委員
欠席者	沖本 和美委員 原 孝造委員 伯野 卓委員 滝 将彦委員
事務局	総務部長 川地 諭 総務部次長兼人事課長 辻村 征宏 人事課主幹 光井 誠司 人事係長 藤田 浩子
会議次第	議題1 市議会議員の議員報酬の額について 議題2 市長、副市長、教育長、病院事業管理者及び水道事業管理者の給料の額について 議題3 選挙管理委員会の委員、監査委員会の委員、農業委員会の委員及び教育委員会の委員の報酬の額について
会議内容	<p>【事務局】 過去8回の特別職報酬等審議会（以下「審議会」という。）の答申概要の説明を行う。 令和1年の審議会で、他市の状況、財政状況等を勘案した結果、市長等の給与、報酬については、現行の額とし、減額措置については、廃止することが妥当であるという答申が提出されたが、市長、副市長、教育長、水道事業管理者、病院事業管理者（以下「市長等」という。）については、自らの判断で減額措置を継続している状況である。</p> <p>議 事 【会長】 議題について事務局の説明をお願いする。 【事務局】 第1回審議会において配付した資料に従い説明 【委員】 現在も、議員報酬を減額措置している市はあるのか。 【事務局】 類似団体で、議員報酬の減額措置を継続している市は無い。 【委員】 今回は、市長等の給料の10%カットを廃止するためなのか、本来の額が適正かと言われても分からない。</p>

【事務局】

令和1年の審議会では、10%カットについては、廃止の答申が出されている。本来の額が適正であるかどうかの確認方法のひとつとしては、他市と比べて判断する方法がある。

【会長】

前回の審議会では、本来支給すべき額として、現行の額が適正であるとしたうえで、市長等は、自らの判断でカットしているという状況である。また、額が適正であるかどうかの判断は、他市との比較しか検討の方法がないと思う。

【委員】

今年10月に選挙があつて、3人の新人議員が当選したが、他の議員と議員報酬の額は、同じなのか。

【事務局】

国会議員と同様に、当選回数での議員報酬の額に違いはない。

【委員】

県内13市との比較だと、金額的には中程度になるが、類似団体との比較になると、上位になるのはなぜか。

【事務局】

基本的には、同一県内での比較をして、全国と比較することは、過去あまりなかった。原因は不明だが、地域の特性、実情の違いにより、県単位で考え方が違うと思われる。

【委員】

市長等の10%の自主的な減額の理由は何か。

【事務局】

景気の回復傾向がみられるが、もう少し経済状況を見極めたいという希望があり据え置きとした。

【委員】

減額措置がなければ、市長の給料は、県内で何番目か。

【事務局】

県内では、8番目となる。

【会長】

全国の類似団体で比較すると高いが、県内で比べると中位である。基本的には、県内で比べるのがいいと思う。

【委員】

農業委員の報酬は、「557,333円以内で市長が別に定める額」となっているが、557,333円の金額の根拠と実際に市長が別に定めている額はいくらか。

【事務局】

農業委員会等に関する法律の改正により、現行の報酬とは別に、新たに農業委員の活動実績によって支払う歩合制の報酬であり、実際に支払われている市長が別に定める額については、活動状況により個人で違うため不明。

557,333円の算出根拠については、次回の審議会資料をお示しする。

【委員】

農業委員の報酬の月額額44,000円は低すぎると思う。

【事務局】

月額44,000円は基本給であり、それに加えて歩合制の報酬が別に支給されることになる。

【委員】

行政委員会の委員報酬を現在も減額措置している市はあるのか。

【事務局】

県内13市、類似団体には無い。

【会長】

他に質問が無いようであれば、次回、引き続き審議を行い、答申案をまとめていきたいと思う。